

科目名	中国語会話・作文	科目コード	1108	単位数	6
担当者名	複数担当教員（中国語）	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

本学は、「開拓者精神の涵養」という建学精神を継承し、「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことを教育目標としている。本講義は中国語を履修した学習者を対象に、中級レベルの中国語を通して、中国の文化、歴史、社会事情などの関連文章やその解説を学習する。中国語表現力を豊にし、将来、国際ビジネス、国際観光の分野において活躍する、幅広い教養知識を持つ実務、実践能力のある人材を育成することを目標にする。

● 到達目標

中級レベルの会話文・文章読解・作文を習得させ、あるテーマについての自分の見解を中国語で表現できること。
HSK4・5級レベルの基本語彙、文法、慣用表現などをよく説明して学習し、ヒヤリングや文章読解など総合的な力を向上させること
二年次終了時には、履修者の語学能力がHSK4級～5級レベルに達すること。

● 授業内容

- 1週目 助動詞 HSK4級読読1
- 2週目 兼語文 HSK4級読読2
- 3週目 補語 HSK4級読読3
- 4週目 量詞 HSK4級書写1
- 5週目 前置詞 HSK4級書写2
- 6週目 比較文 HSK4級書写3
- 7週目 副詞 HSK4級聴力1
- 8週目 助動詞 HSK4級聴力2
- 9週目 複文 HSK4級聴力3
- 10週目 動詞の重ね方 HSK5級書写1
- 11週目 把の構文 HSK5級書写2
- 12週目 使役形 HSK5級書写3
- 13週目 HSK5級読解1
- 14週目 HSK5級読解2
- 15週目 HSK5級読解3 + 期末テスト
- 16週目 総合復習・期末テスト。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

HSK4級・5級に合格するには、単語の予習、暗記が必須である。その使い方を丹念に練習する必要がある、これを自ら進んで実行しなければならない。模擬試験問題をたくさん練習することが重要である。学習レベルに応じてHSK4級・5級の練習問題を課する。また、教科書の内容を参考にし、学習内容に基づき、事前事後予習・復習を求め、毎回習った単語を繰り返す練習し、新出単語や本文の暗記を日課とする。また、HSK4・5級レベルの単語の意味や使い方を調べ、関連言葉を連想して文を作ることやドリル問題を完成させる。
（予習）授業をスムーズに進めるため、事前に練習問題を30分程度予習する必要がある。
（復習）毎回習った単語を覚えられるように、毎日30分前後に取り組むことが望む。

● 成績評価の方法・基準

単位の評価は中間テスト、期末テスト及びHSK4・5級の成績をポイントとして合算して評価する。併せて練習課題や本文の暗唱も評価の対象にする。自己点検シートを配布するので記入すること

● 履修上の留意点

毎回、授業に出席するのが基本である。成績評価は、全16週の授業うち、11週以上出席した学生を対象にする。なお、理由なく5分以上遅刻は欠席とする。
中国語作文と会話の履修は前期中国語の成績がB評価以上を条件とする。

● 課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は、毎回の課題練習や宿題などをチェックして、それを自己点検させてから正しく書き直させる形で行う。

● テキスト

陳淑梅等『もっと話そう異文化おもしろ体験中級中国語』朝日2021年1月2200 + 税

HSK4級・HSK5級の模擬テスト資料を配布する

● 参考書

- HSK4級語彙集
- HSK5級語彙集
- HSKの過去問を無料ダウンロード（1～6級過去問・リスニングあり）
<https://12daimedaimonya-chinese.com/hsk-download/#HSK1>

● 更新日付

2022/02/03 07:14